

# うえなえ

Vol.427 2023.12



## 2023年12月1日 ウトナイ病院 オープン

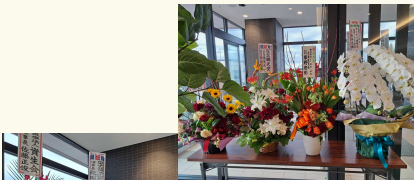
2023年12月1日、皆様のご協力のもと「社会医療法人こぶし ウトナイ病院」が無事に移転オープンいたしました。今後の柳町デイケアや外来の統合を控え、新病院での変更点を以下のようにご報告します。

- 変更点①：外来手順が変更になります～これまで窓口で受け付け後、事務スタッフが紙カルテを外来まで運んでいましたが、ウトナイ病院では紙カルテを廃止し、患者さんご自身にオレンジ色のファイルを持ち運んでいただくシステムになりました。
- 変更点②：敷地内に門前薬局（ファーマライズ薬局ウトナイ店）が入りました。
- 変更点③：入院・外来・デイケアの動線を分けます・・・外来機能の強化や感染防止対策を目的に、外来の方が利用される正面玄関のほかにデイケアに通所される方の玄関、建物正面の裏に入院患者さんや面会のご家族、職員の共用玄関の3つになっています。このため、17時以降の病棟への用事や夜間外来の方は裏の玄関のご利用となります。
- 変更点④：地域医療連携室の設置・・・植苗病院でも昨年頃から設置していましたが病棟側にあったため場所がわかりづらい面がありました。今回、正面玄関を入ったすぐの左手に設置され、外来の方に利用しやすいようにしました。

11月下旬より、順次各部署の引越を進め12月1日入院され

ている方達の移送を職員総出で行い無事に終えることができました。翌日の2日、外来シュミレーションを実施しましたが、細かい手順やシステムの不具合等が見つかるなど実際に行ってわかる改善点が多数確認することもできました。

ある程度の引越は終了しましたが、荷物の整理が追いつかず引越のドタバタでどこに何があるかがわからなくなったり、新しい電話機の使い方に慣れず転送に失敗してしまったり、入院患者さんやそのご家族、外来をご利用される皆様にもご迷惑をお掛けすると思います。病院内が落ち着くまでには今しばらくかかるかと思いますが、温かい目で見守っていただけますと幸いです。最後に、移転早々にお祝いのお花やお言葉をたくさん頂戴いたしました。この場をお借りして感謝を申し上げます。お心遣い誠にありがとうございました。



社会医療法人こぶし  
ウトナイ病院

〒059-1307  
苫小牧市ウトナイ南2丁目1番8号  
TEL：0144(84)5561（代表）  
0144(84)5658（地域連携室）  
FAX：0144(84)5529

本来ならば新病院移転に伴い広報の名称も変わるところですが、とてもそこまでは手が回りませんでした。来年4月以降名称変更とともに紙面刷新も考えておりますのでご期待ください。

※ホームページのリニューアルも大幅遅れております。住所や連絡先については、左記をご参照ください。

## ウトナイ病院通信

### 第12回 ウトナイ病院開院！！

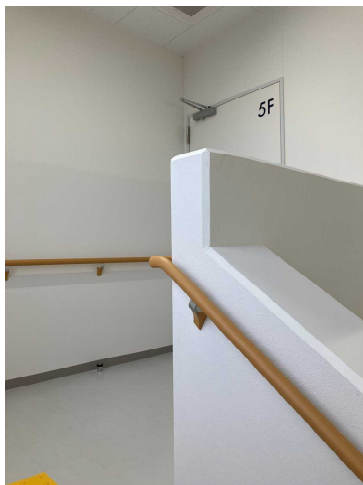
ついに12月1日ウトナイ病院が開院しました！！2023年も終わりだし、ウトナイ病院も開院したして、今月号でウトナイ通信も終了かと思った皆様、こちらの連載はもう少し続きます。なぜかと言いますと2024年1月にデイケア、2月には柳町診療所が合流するまでをフォローする予定でありますので、もうしばらくお付き合いください。



今号が発行されて皆様のお手元に届くころには、ホームページも出来上がりウトナイ病院の情報もそれなりに行き渡っているのではないかと考えています。ですので、ウトナイ通信では少し違った情報を発信したいと思います。

ではまず1つ目！！夜になると苦小牧の街の明かりが大きな窓からとても綺麗に見えます。建築会社の方がおっしゃるには港まつりの花火も見えるのではないかと。花火は近くで大きく見るものだけれど、2024年は静かに遠くから見るのもいいですね。見難いですが、写真は5階から眺める夜景です。

続いて2つ目。横に広がっていた植苗病院とは違い、縦に長いウトナイ病院では意識しないと運動不足になる事が予想されます。一部の職員は積極的に階段を利用して、丈夫な足腰作りに勤しんでいるみたいです。チーム5階は4階の文字が見えてくると急に足が重くなり、5階の扉を開ける頃には息が上がり、椅子に座ると根が生えます。健康と仕事の両立が出来る様になるまでは時間が必要な感じです。理事長、地球とお財布には優しいはずなので、長い目で見守ってください。



最後に3つ目。広報誌「うえなえ」が「ウトナイ」になります。前から新築移転後に名前を変えようと広報委員の間で話し合っていたのですが、丁度よい機会なので紙面についても考えようと積極的に動いた結果、2024年4月という事になりました。今は、連載はどうする？とか、まりもちゃんはどこに配置するのか？とか、ざっくりとした事しか話し合えていませんが、4月にはシン・広報誌としてお目見えする予定でありますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



精神科医 田中 尚朗

## 第9回 どうするソーガス - ソーガス支線の盛衰 -

みなさんこんにちは。今回は、ボストンの北方約15km、ソーガス(Saugus)の町を走っていた「ソーガス支線」を取り上げたいと思います。

時は19世紀半ば、ボストンから最北のメイン州に向かう鉄道は、経済的にも人々の生活の上でも重要な役割を担っていました。中でも有力だったのは、北東部の巨人「ボストン・アンド・メイン鉄道(B&M)」。当時、手狭になったボストンを避け、郊外の町で急速に住宅開発が進み、人々はボストンに通勤する生活を送るようになってきました。同社は比較的的内陸部にあるこれらの町々をつないでいきます。その対抗馬(いや対抗汽車)が「イースタン鉄道」。こちらは植民地時代から開けていた海沿いの町を通るルートでした。この両者は19世紀初めから激しい競争を繰り広げます。

「ソーガス支線」ができたのは、その只中の1853年。「支線」(branch)とはいうものの、独立した会社が手がけた路線です。そのルートは、ボストン郊外の町ソーガスを中心に「B&M」と「イースタン」をいわば東西につなぐ架け橋のようなものでした。実際、完成と同時に「ソーガス支線」は競い合っている両者への乗り入れに成功します。

もっとも、このような「小大名」が単独で生き残ることができる時代はもう過ぎていました。開業2年後の1855年、ソーガス支線はイースタンの傘下に入ります。イースタンはライバルのB&Mへの乗り入れを打ち切り、独自の延長路線を建設し始めます。しかし、その努力もむなしく、1890年、B&Mがイースタンを買収しました。

ソーガス支線は大大名B&Mのもとで細々と生き延びていましたが、1958年に旅客取り扱い終了、2013年に軌道が撤去されました。19世紀の「鉄道戦国時代」に咲いたあだ花ともいえるこの路線は、現在「ノーザン・ストランド・コミュニティ・トレイル」という遊歩道として人々に親しまれています。



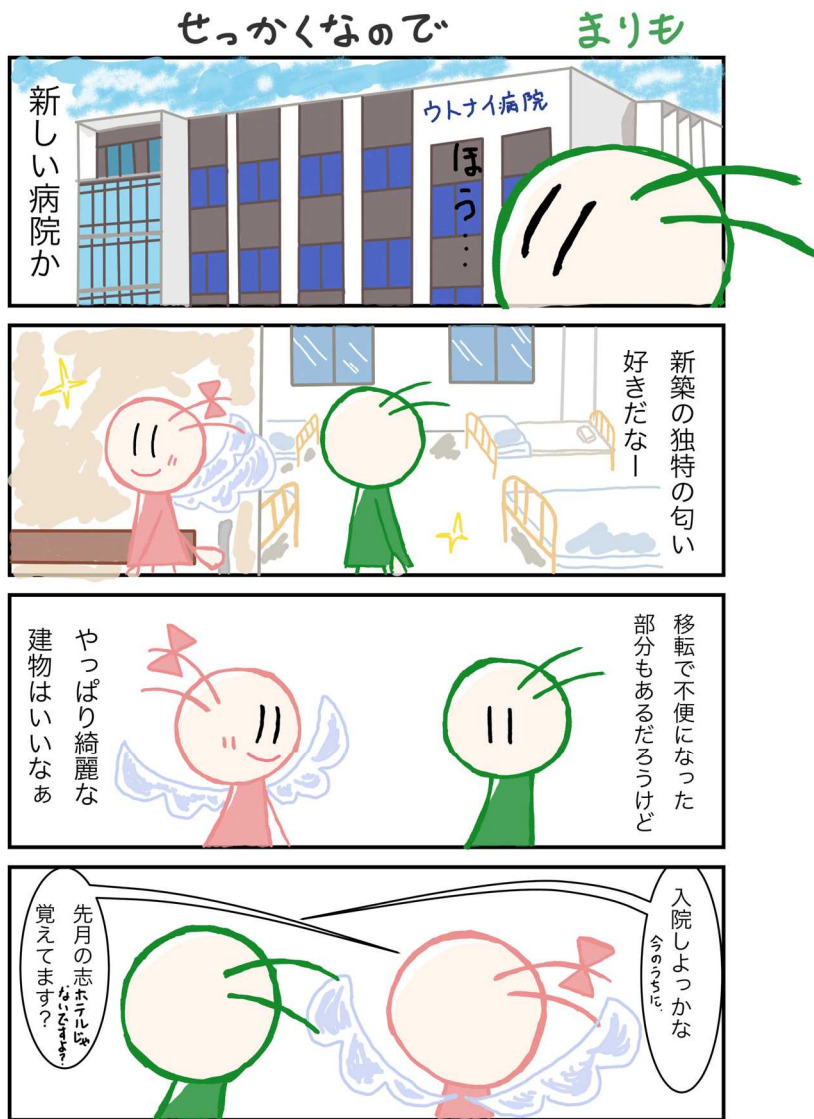


# お知らせ

## ◆ 外来休診のお知らせ ◆

社会医療法人こぶし（ウトナイ病院・柳町診療所）では2023年12月28日（木）～2024年1月3日（水）の間、外来診療が休診となります。ご利用されています皆様にはご不便をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

	12/27 水曜日	12/28 木曜日	12/29 金曜日	12/30 土曜日	12/31 日曜日	1/1 月曜日	1/2 火曜日	1/3 水曜日	1/4 木曜日
外 来	通常 診療	<b>休 診</b>						通常 診療	



病む人と出会い  
病む人を支え  
病む人に学ぶ

発行  
社会医療法人こぶし広報委員会  
苫小牧市字植苗52-2  
TEL:0144-58-2314  
<http://www.uenae-hp.or.jp/>



### < 後記 >

病院の移転に伴い、行きつけの床屋さんからお祝いのお花を頂きました。はじめは冗談で話をしていたのですが、最終的には「お返しに編集後記に載せますよ」と約束したのでした。約束、守りましたよ！（笑）

(K)